

瀬戸内海 歴史民俗資料館

2024年12月に国指定の重要文化財になりました！



漁撈用具や船大工用具等約6,000点の国指定重要有形民俗文化財がある



撮影 増田好郎



撮影 増田好郎

撮影 増田好郎

まるで「海賊の城」！？ 瀬戸内海を一望する高台に建つ石積みの建築

日本で初めて国立公園に指定された瀬戸内海国立公園内の景勝地五色台に佇む資料館。2024年12月に国の重要文化財に指定された。瀬戸内地域の暮らしや文化を物語る木造船や漁撈用具、雨乞い用具などを展示しており、約6,000点もの国指定重要有形民俗文化財がある。1970年以降の建築としては、全国で初めて重要文化財となった建物も必見。設計は、丹下健三設計の香川県庁舎（国重要文化財）の建築にも当時、香川県庁職員として携わった山本忠司。この地でとれた石を積み重ね、まるで「海賊の城」のような外観や、自然の地形に合わせて配置された展示室、各所に設けられた大きな窓は、瀬戸内海の自然景観との調和が図られている。これまで「日本建築学会賞」を受賞するなど、香川県を代表するモダンイズム建築。



☎ 香川県高松市亀水町1412-2
☎ 087-881-4707
🕒 9:00～17:00（最終入館16:30）
📅 月曜日（月曜日が休日の場合は、原則として翌火曜日）、12月29日～1月3日、臨時休館あり
🎫 無料
🚗 JR高松駅から車で約25分。高松道ICから車で約30分。坂出北ICから車で約30分。※高松道ICは坂出側からの下車不可。坂出北ICは四国側からの下車不可

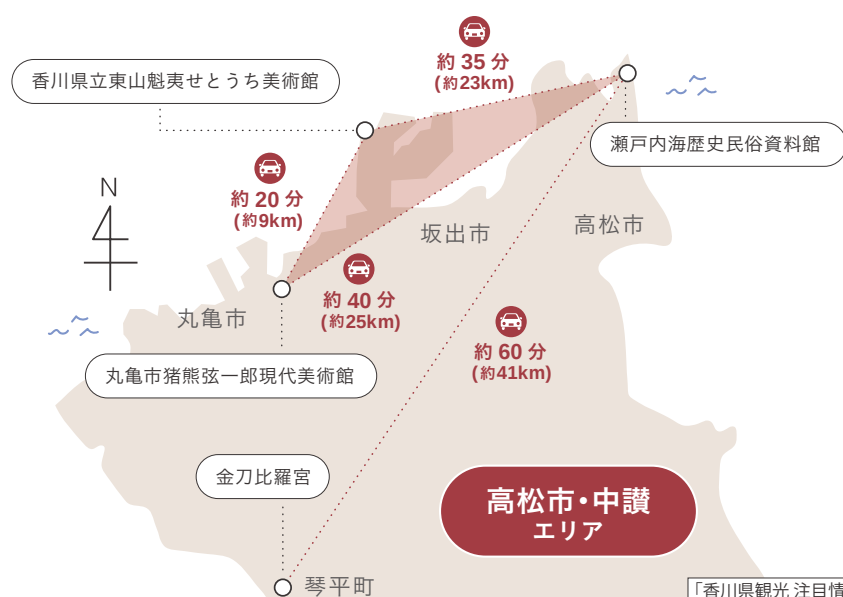


最寄りのART Spot 01

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館

全国的にもユニークな、駅前にある現代美術館。三越の包装紙「華ひらく」を手掛けた香川県出身の猪熊弦一郎の作品約2万点を所蔵するほか企画展も通年で開催。谷口吉生設計の館内は、自然光をふんだんに取り込んだ開放的な空間が広がる。

☎ 香川県丸亀市浜町80-1
☎ 0877-24-7755
🕒 10:00～18:00（最終入館17:30）
📅 月曜日（祝日の場合は開館、直後の平日が休館）、年末12月25日～31日、臨時休館日
🎫 一般300円、大学生200円 ※企画展は別料金
展覧会の観覧料を2025年4月12日（土）より改定。詳しくは、webを参照。
🚗 JR丸亀駅下車徒歩約1分。坂出北ICから車で約15分。※坂出北ICは四国側からの下車不可。坂出IC、善通寺ICからそれぞれ車で約15分。



瀬戸内海の歴史の宝庫

れきみんを巡ろう！

かつては大陸だった！？

◀ ナウマンゾウの骨・歯

氷河期終了後の温暖化により海面が上昇し、海に沈んだナウマンゾウの骨が漁で引き揚げられる

マエソ ▶

しょう
棕櫚と稲わらで編んだ防水用前掛け

木靴 ▶

▲ いただきさんの自転車

鮮魚行商人「いただきさん」が利用していたサイドカー付きの自転車

◀ ダンベ

いけす
竹で編んだ大型生簀

ナマリ ▶

貝類、ナマコ、ウニなどを採るヘルメット式潜水漁で用いるオモリ

▲ ヨベッサンとリョースケサン

大漁の神様

▲ エビスサン

大漁の神様

海の信仰
シリーズ

フナダマサン ▶

船を守ってくれる神様

◀ カニの甲羅

の魔除け

▲ 30艘を超える和船

◀ 大漁のシルシバタ

（国指定重要有形民俗文化財）

当時のPhoto

▲ 渇水の際の雨乞龍の練り歩き（1939年）

香川県三豊市仁尾町では、現在も夏の「仁尾竜まつり」でわら製の竜をかついだ人たちが町を練り歩く

◀ 雨乞龍

れきみんの灯台 ▶

高松港で約30年間、海の安全を守ってきた赤・白灯台の灯ろう部分を移設した

▲ 船ランプ

階段をのぼって展望台へ
360°見渡せる大パノラマ

大漁旗 ▶



最寄りのART Spot 02

香川県立東山魁夷せとうち美術館

東山魁夷提案のライトグレー色の瀬戸大橋が眼前に広がり、万葉のロマン漂う歴史的遺産や、瀬戸内海の美しい自然に囲まれ、心の癒しや憩いの場となる美術館。設計は谷口吉生。館内のカフェから見える瀬戸大橋は格別の景色。

☎ 香川県坂出市沙弥島字南通224-13
☎ 0877-44-1333
🕒 9:00～17:00（最終入館16:30）
📅 月曜日（祝日の場合は開館、翌日火曜日が休館）、12月27日～1月1日、展示替えのための臨時休館あり
🎫 一般400円 ※特別展開催時は別料金
高校生以下、香川県在住の65歳以上の方無料。
🚗 JR坂出駅、JR宇多津駅からそれぞれ車で約20分。坂出北ICから車で約10分。坂出ICから車で約20分。※坂出北ICは四国側からの下車不可。

カフェからの眺め